

2016年 理工学部 第2問

1枚目/2枚

2  $f(x)$  は2次関数であり,  $f(0) = f(1) = 0$  を満たすとする.

(1)  $a = \frac{1}{2} f''(0)$  とする. このとき,  $f(x)$  は  $a$  を用いて  $f(x) = \frac{ax^2 - ax}{\text{キ}}$  と表される.

(2) 定積分

$$\int_0^1 \{(f'(x) - x)^2 - f(x)\} dx$$

の値が最も小さくなるのは  $f(x) = \frac{\frac{1}{4}x^2 - \frac{1}{4}x}{\text{ク}}$  のときである. また, そのときの定積分の値は  $\frac{\frac{5}{16}}{\text{ケ}}$  である.  
以下では,  $f(x) = \frac{\text{ク}}{\text{ケ}}$ ,  $m = \frac{\text{ケ}}{\text{ク}}$  とする.

(3) 関数  $h(x)$  は  $h(0) = h(1) = 0$  を満たし, その導関数  $h'(x)$  は連続であるとする. さらに,  $I$  と  $J$  を

$$I = \int_0^1 \{(f'(x) + h'(x) - x)^2 - (f(x) + h(x))\} dx$$

$$J = \int_0^1 \{(f'(x) - x)^2 - f(x)\} dx + \int_0^1 (h'(x))^2 dx$$

で定める. このとき, 等式

$$I = J$$

を証明しなさい.

(4) 関数  $g(x)$  は  $g(0) = g(1) = 0$  を満たし, その導関数  $g'(x)$  は連続であるとする. このとき, 不等式

$$\int_0^1 \{(g'(x) - x)^2 - g(x)\} dx \geq m$$

を証明しなさい.

(1)  $f(x) = Px(x-1)$  とおけるので,  $f'(x) = 2P \therefore f''(0) = 2P$  より,  $a = P \therefore \underline{f(x) = ax^2 - ax}$  //

(2)  $f'(x) = 2ax - a \therefore$  与式を  $F$  とおくと,

$$\begin{aligned} F &= \int_0^1 \{(2a-1)x - a\}^2 - (ax^2 - ax) dx \\ &= \int_0^1 (4a^2 - 5a + 1)x^2 + (-4a^2 + 3a)x + a^2 dx \\ &= \left[ \frac{1}{3}(4a^2 - 5a + 1)x^3 + \frac{1}{2}(-4a^2 + 3a)x^2 + a^2x \right]_0^1 \\ &= \frac{1}{3}a^2 - \frac{1}{6}a + \frac{1}{3} \\ &= \frac{1}{3}\left(a - \frac{1}{4}\right)^2 + \frac{5}{16} \end{aligned}$$

$\therefore a = \frac{1}{4}$  すなわち,  $\underline{f(x) = \frac{1}{4}x^2 - \frac{1}{4}x}$  のとき, 定積分の値は  $\frac{5}{16}$  //

2016年 理工学部 第2問

2枚目 / 2枚



2  $f(x)$  は2次関数であり,  $f(0) = f(1) = 0$  を満たすとする.

(1)  $a = \frac{1}{2}f''(0)$  とする. このとき,  $f(x)$  は  $a$  を用いて  $f(x) = \boxed{\text{キ}}$  と表される.

(2) 定積分

$$\int_0^1 \{(f'(x) - x)^2 - f(x)\} dx$$

の値が最も小さくなるのは  $f(x) = \boxed{\text{ク}}$  のときである. また, そのときの定積分の値は  $\boxed{\text{ケ}}$  である.

以下では,  $f(x) = \boxed{\text{ク}}$ ,  $m = \boxed{\text{ケ}}$  とする.

(3) 関数  $h(x)$  は  $h(0) = h(1) = 0$  を満たし, その導関数  $h'(x)$  は連続であるとする. さらに,  $I$  と  $J$  を

$$I = \int_0^1 \{(f'(x) + h'(x) - x)^2 - (f(x) + h(x))\} dx$$

$$J = \int_0^1 \{(f'(x) - x)^2 - f(x)\} dx + \int_0^1 (h'(x))^2 dx$$

で定める. このとき, 等式

$$I = J$$

を証明しなさい.

(4) 関数  $g(x)$  は  $g(0) = g(1) = 0$  を満たし, その導関数  $g'(x)$  は連続であるとする. このとき, 不等式

$$\int_0^1 \{(g'(x) - x)^2 - g(x)\} dx \geq m$$

を証明しなさい.

$$(3) I - J = \int_0^1 \{f'(x) + h'(x) - x\}^2 - \{f'(x) - x\}^2 + f(x) - f(x) - h(x) - \{h'(x)\}^2 dx$$

$$= \int_0^1 2\{f'(x) - x\}h'(x) - h(x) dx$$

$$= 2[\{f'(x) - x\}h(x)]_0^1 - 2\int_0^1 \{f''(x) - 1\}h(x) dx - \int_0^1 h(x) dx$$

$$= 2\left\{-\frac{3}{4}h(1) + \frac{1}{4}h(0)\right\} + \int_0^1 h(x) dx - \int_0^1 h(x) dx$$

$$= 0$$

$$\therefore I = J \quad \square$$

(4)  $g(x) = f(x) + h(x)$  とおくと

$$(\text{与式}) = \int_0^1 \{f'(x) + h'(x) - x\}^2 - \{f(x) + h(x)\} dx$$

$$= \int_0^1 \{f'(x) - x\}^2 - f(x) dx + \int_0^1 \{h'(x)\}^2 dx \geq 0 \quad (\because (3) \text{より})$$

$$\geq \int_0^1 \{f'(x) - x\}^2 - f(x) dx = \frac{5}{16} \quad (\because (2) \text{より}) \quad \square$$